

2023年5月15日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
標本資料センター 神保 宇嗣

第41回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について（案内）

平素より自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。

第41回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を下記のとおり Zoom を利用して開催します。多くの方に参加していただくため、昨年に引き続き、対面集会ではなくオンライン形式での開催にさせていただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。ご参加いただける場合には、5月28日（日）までに下記の事前申し込みフォームよりお名前、ご所属をご連絡ください。

記

日時：2023年6月10日（土） 13時30分～16時00分

場所：Zoom を利用したインターネット会合

事前申し込み：<https://forms.gle/mSeuW2EsEQ5Sq9vm9>

※受付後、改めて Zoom の URL をお知らせいたします。

申込締め切り：2023年5月28日（日）

主催：国立科学博物館

協力：NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラムは別紙をご覧ください。

本件に関する連絡先

国立科学博物館

神保 宇嗣・太田 藍乃・柿添 翔太郎・江守 知保

電話：029-853-8277 E-mail：s-net_info@kahaku.go.jp

第 41 回 自然史標本情報発信に関する研究会
ー博物館や自然史標本データベースを取り巻く状況の変化ー

サイエンスミュージアムネット (S-Net) は、自然史系博物館をはじめとする全国の参加機関が所有する標本のデータをつないで公開する役割を担っています。皆様から提供していただいたデータは、S-Net ポータルウェブサイトや、連携している GBIF・ジャパンサーチなどのさらに大きなデータベースを通じて公開しています。公開されたデータは、どのような標本がどの博物館にあるかを調べるためだけでなく、学術研究や生物多様性保全などにも利用されています。社会の情勢変化などにもとない博物館には新たな役割が期待されつつあり、S-Net としてもその対応を考える時期にさしかかってきております。

そこで、今回の研究会では、そのような情勢の変化の中から、博物館法の改正の中に盛り込まれたデジタルアーカイブ、新しい生物多様性国家戦略、生物多様性情報のオープンデータ化を取り上げ、実践例や博物館への期待について話題提供いたします。今回の会合を通じて、S-Net を取り巻く様々な情勢の変化をみなさまと共有し、今後の博物館からの情報発信とその活用のあり方について考える機会にしたいと思います。

<プログラム>

- ・開会挨拶・注意事項 神保 宇嗣 (国立科博 標本資料センター)
- ・イントロダクション：S-Net を取り巻く状況の変化 神保 宇嗣 (国立科博 標本資料センター)
- ・博物館情報リソースの整備と公開～データのエンリッチメントと可視化～ 倉島 治 (国立科博 科学系博物館イノベーションセンター)
- ・生物多様性国家戦略 2023-2030 と博物館に期待すること 福井 俊介 (環境省生物多様性戦略推進室)
- ・(仮) 環境省生物多様性センターにおける生物多様性情報のオープンデータ化推進の取組について 松本 英昭 (環境省自然環境局生物多様性センター)

ご参加いただくには、事前のお申し込みが必要です。

下記のサイトより、お申し込みいただければ幸いです。

事前申し込み：<https://forms.gle/mSeuW2EsEQ5Sq9vm9>

※受付後、改めて Zoom の URL をお知らせいたします。